



NPO 金沢杜の里 NEWS

2024.11 No.48



就任あいさつ



特定非営利活動法人
NPO 金沢杜の里

理事長 鈴木 坂 忠 和

今年度、理事長に就任いたしました鈴木坂忠和です。

会員及び地域の皆様には、日頃「NPO 金沢杜の里」の事業活動にご協力・ご理解を賜り誠にありがとうございます。

当「NPO 金沢杜の里」は、平成19年度より事業活動を開始し、今年度で18年目を迎えることができました。当初より、金沢東部地域の「花と緑の街づくり」・「魅力ある街づくり」を目指して事業活動を行ってまいりましたが、今後もこの目的を達成するための事業活動を続けてまいりたいと考えております。

そのため、現在「会員の増加のための会員募集活動」「地域環境美化活動」さらに「花・緑化推進活動」等を推進しておりますが、これらの活動は、会員及び地域の皆様のご理解とご協力があつての活動と考えておりますので、是非とも今後一層のご支援・ご協力をお願いしたいと思っております。

今年度から、昨今の「新型コロナウイルス」規制も緩和され、様々な活動も従来の活動ぶりに戻りつつあります。

「NPO 金沢杜の里」の事業活動も、会員及び地域の皆様と共に従来以上に活発に取り組み、金沢東部地域の「美しい自然環境の保全」や「住み良い街づくり活動」を推進してまいりたいと考えております。

繰り返しになりますが、今後とも会員及び地域の皆様のご支援とご協力を賜りたく、お願いいたします。

まちづくり活動

令和6年7月～令和6年10月



第1回ホテル観察学習会(7/3)



第1回私有地除草(7/13)



ベンチ塗替え(7/27)



第2回ホテル観察学習会(9/10)



若松杜の里秋祭り(9/15)



第2回私有地除草(10/12)

もりの里緑地小公園除草(毎月)

支援事業

公園の樹木にネームプレート

まちおこしイベント事業の一環として、9月5日、若松せせらぎ公園と中瀬橋の木公園内にあるヤマブキ、ケヤキなどの樹木32本にネームプレートを設置した。

子どもに自然に親しんでもらう狙いで、3年前から設置しており、杜の里児童クラブの7人が若松せせらぎ公園内での樹木の取付けに参加した。



もりさとサマーホリデー(7/20)



杜の里まつり(10/14)



杜の里オータムフェスタ(10/19)

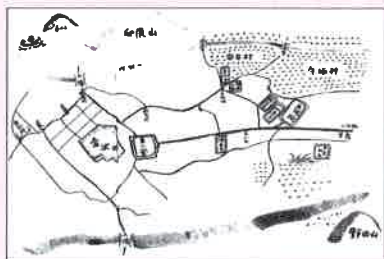
ゆめは野をこえ

「ゆめは野をこえ」は、金沢生まれの愛知県立大学名誉教授の勝尾金弥先生(金沢市在住、元中学校教諭、日本でも著名な児童文学者、かつおきんや作品集全18巻他著書多数)が、江戸時代の牛坂村(現在の旭町)を舞台に、40戸ある牛坂村の肝煎り(庄屋)を代々つとめる農家の兄妹4人の中のおツルという娘が、11歳の年の出来事を7話としてまとめたものです。

なお、父は肝煎役として村をまとめ、数年前に隠居した祖父は、田井村に住む十村(大庄屋)から時々特別なご用を言いつかつたりしていることも記してあり、当時の様子を伺い知ることができます。

第1話は「お江戸みやげ」で、越中薬屋さんとハス田の花が咲くころ再会して江戸のおみやげ「錦絵」をもらう話ですが、春から夏にかけての農家の子ども達の朝の仕事が草刈りであり、細い流れやみぞで、ウナギやドジョウをとることでした。

とった獲物は街で売り収入を得ることで、牛坂村の武士はウナギを、町民はドジョウのかば焼きを食べていることも描写してあります。また、おばあちゃんと椿原天満宮、田井の天神さま1日まいるの話や、氷室の話もあり、美味しく氷室饅頭を食べる話や江戸へ氷室の氷を送ることも記してあります。



話の中心にある再会した越中薬屋さんは、昨年と別の人で、江戸から土産を持って北国街道を帰国中、難関の親不知で波にさらわれ亡くなってしまった。約束の人の代わりに、おツルを訪ねお土産の「錦絵」を涙ながらに話し、手渡した時のおツルの悲しみが手に取るようになります。

なお、田上公民館で作成した紙芝居「ゆめは野をこえ」は、この第1話を、若松町の二人に取り纏めていただき、綺麗な絵として紙芝居にしたもので、昔の物語をおツルを通して知ることができます。以降、第2話のご先祖さま、3話・絵のけいこ、4話・カカシ、5話・渡り鳥、6話・かたき討話、7話・ホウソウと、当時の様子を一年間の四季の移変わりの中で、おツルを通して描いてあり、楽しく読み当時に思いを馳せ偲ぶことができます。

(本は金沢市の図書館にあります。) 関戸 正彦 記

☆いつも乍ら「探訪シリーズ」が楽しみで。消えて「土地の名」残念ですね。時勢のこととは言え、簡単に換えられたのですね。その地の由来や個性が名前でもわかるのに誠に残念！

☆杜の里ニュース7月号を見て。金沢にも哲学の道があるとは知りませんでした。大学のある町にふさわしいですね、また旭町も明るくていい町名だと思っていました。元は牛坂だったとは面白いですね、いろいろ変遷があり、町名も変わっていくのは致し方ないことですが、元の名前を記憶に止めて、現在の町名になったことを知っておくことはとても大切なことだと思います。ますます愛着が増すことでしょう。

☆「情報公開」についての説明、ありがとうございます。過去に何か問題、紛争があったのかと思いました。「わが町・探訪シリーズ」「郷土こぼれ話」など、毎回おもしろく拝読させていただいています。

☆「若松・杜の里哲学の道」があるなんて知りませんでした。金沢は、小京都と言われるだけあってステキですね！大切に守っていききたいですね。歴史研究家の皆さんの御尽力のお陰で色んな事が分かる様になり、有難いです。感謝申し上げます。

☆「牛」は古い言葉の「優し」を表し、「と」は「牛」が付く地名についての解説が興味深かったです。生活する人達への、先人達のメッセージが込められている命名なんですね。

☆わが町・探訪シリーズが面白い。簡単に地名・集落名を変えることは問題です。歴史を消し去ってしまいます。金沢市全体もそうです。反省すべき。

☆NPO金沢杜の里さん、いつもありがとうございます。兼六中学校に行く途中で見るたくさんのプランターは全部NPO金沢杜の里さんがしてくれたと知りませんでした。これからも町をきれいにしてください。

☆NPO金沢杜の里のみなさん、いつもありがとうございます。街を花で美しくしていただいたり、公園の木に名札をつけてくださったり、祭りを支援してくださったり、活気ある地域づくりに大きく貢献していると思います。暑いのでからだに気をつけて活動が続けて欲しいです。

☆歩道脇のお花の水やり、ご苦労様です。いつも綺麗な花に癒されています。☆牛坂村の牛が「優し」を表し、マイナスの意味から旭町になったようで、ナルホドと思いました。ただ、なぜ「旭」にした理由も説明してほしかったですね。

☆今は無き「姫谷」・郷土こぼれ話を、読み大変楽しんで頂きました。一件落着で村人達の笑顔が想像できます。(読んでいる私も笑顔を貰いました。)

☆百年ほど前のわが町迎りは、こんな風だったんだ。牛や馬、人力中心の時代で、それ由来して町の名前がつけ、なるほど...と。納得しつつ探訪シリーズを興味深く読みました。同時に百年後の未来は、一体どのような街に変貌しているのだろうか想像してみるのでした。

☆栃の木公園とても子ども達に人気のある公園ですね。地元の方が熱心にお掃除していらしているのでもキレイです。道沿いのカラニコエが美しく咲いています。お水やりなどお世話ありがとうございます。皆様暑いのでお体お気を付けて。

☆7月号、楽しく拝読いたしました。今年も4月にパンジーの花、5月はパンジーをベコニアに植替えられ、鈴懸坂の歩道脇他4箇所に400基のプランターに1200本のベコニアの花、街を花で美しくされているNPOの方々感謝しています。姫谷の郷土こぼれ話も終わりとか、次のシリーズものをたのしみにしています。連日の猛暑です。プランターのお世話ご苦労様です。熱中症に注意してください。

わが町・探訪シリーズ29 牛坂から旭町へ、改名の謎に迫る②

「崎浦村大字牛坂」は、昭和11年4月の金沢市編入時に「旭町」と改名しました。「旭」の由来の一つは、牛坂の中腹に「加賀騒動」の被害者、6代藩主吉徳の三男利和(勢之佐)が幽閉されたといわれる土牢跡があり、霊を鎮める為に観音像が安置されました。またこの傍らから清水が湧き、朝日を望む「旭の観音」「旭の清水」と称されました。これが由来の定説として知られています。

実はもう一つ、亡き祖父の懐古話に、『昭和9、10年頃、18、9歳当時、牛坂集落の新町名会議に出席した際、いくつか候補が出たがピンとこなかった為、中々決まらなかった。最後の最後に「田んぼの水面に朝日が反射しキラキラと輝く風景、力強く昇る「旭町」とするのはどうか。」と提案したところ満場の賛同を得ることが出来た。』と、教えてくれました。

その頃の牛坂の住民は、牛坂神社の北側にあった「上牛坂集落」から、現在の旭町二丁目交差点付近から用水沿いの「下牛坂集落」に、全戸移転していました。

小立野台地崖下の住居から一步踏み出すと、目下に牛坂の田園、浅野川の先に、若松・鈴見・田上の村落の営み、さらに医王・戸室の霊山と、藩政時代には歌に詠まれ、絵にもなった風景が広がっていたのです。春には「田毎の水面に移りゆく旭」。秋には「稔を黄金に照らす旭」。四季を通して観ていた牛坂村の原風景が、「旭町」の由来だったのです。先人達が後世に伝えるメッセージとして、ずっと大切にしていきたいものです。



郷土歴史研究家 安村 浩 加賀騒動で知られた勢之佐土牢跡(旭町)



稲刈り体験

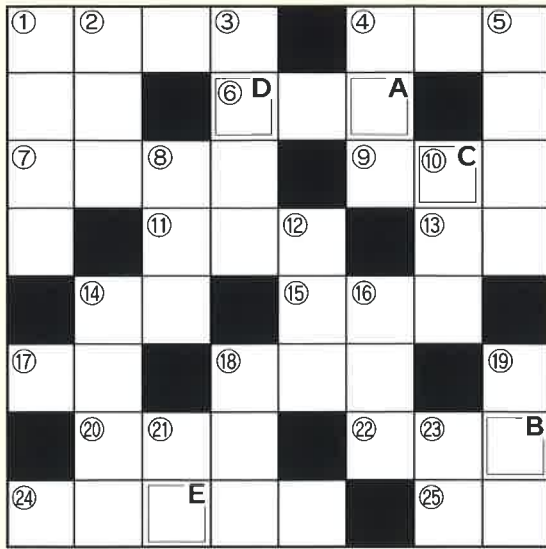
杜の里小学校5年生

9月12日、奥卯辰山健民公園管理センターの皆様のご指導のもと、5年生の稲刈り体験を行いました。例年、奥卯辰山健民公園内の田んぼで稲作体験を行っていましたが、クマ出没の恐れ等から、今年度は、バケツ稲での稲作体験となりました。

それでも、春に植えた苗が大きくなり、稲穂となって実ったことに、子どもたちは感動していました。そして、大切そうに稲に鎌を入れて刈り取っていました。管理センターの皆様には、稲の管理等大変お世話になりました。ありがとうございました。

後日、家庭科の調理実習で、自分たちでお米を炊いて食べる予定です。

クロスワードパズル



答 A B C D E

ヒント*収穫時の稲穂の色など赤みをおびた黄色のこと

応募方法

◎郵便はがきに解答と住所、氏名、感想等を記入し、11月30日までに、次の所へお送りください。
〒920-1165 金沢市若松町3-281
NPO金沢杜の里情報公開委員会係

タテのカギ

- ① 入れ替わる事
- ② 屋号などを染めて店頭にとらしてあるもの
- ③ 学校教科の1つ
- ④ もとに戻す
- ⑤ 物事の終わり
- ⑧ 世の中のありさま
- ⑩ 売買される時の金額
- ⑫ 畳を敷いた客間
- ⑭ 秋の終わりから冬の初めころに吹く北風
- ⑯ 仏教の開祖
- ⑰ 野球で打者が塁に出る方法(ヒット)
- ⑲ 郵便を利用する84円の紙片
- ⑳ ○○鉛筆
- ㉓ 木を薄く平たく切ったもの

ヨコのカギ

- ① ナマコの内臓の塩辛
- ④ 利益のこと
- ⑥ アジア大陸南部の半島
- ⑦ 心をこめてものごとをすること
- ⑨ 映画
- ⑪ すぐにその場でする
- ⑬ 魚の名前で、英名はニードルフィッシュ
- ⑭ ○乙丙
- ⑮ 個人的な手紙
- ⑰ 栗の果実を包んでいるとげの皮
- ⑱ 人が住んでいない家
- ⑳ 直線や線のこと
- ㉒ 線や色で物の形を平面に描いたもの
- ㉔ 陰で人を助けたりすること
- ㉕ 高い所から流れ落ちる水

◎48号の正解者の中から抽選で当選者15名様に粗品を12月上旬に発送します。

◎48号の解答は、令和7年4月発行の49号に掲載します。

◎47号の解答は「トチノキコウエン」でした。



47号の答え

郷土こぼれ話

もりの里蓮華寺地蔵尊

いつの頃か定かでないが、昔々、若松町の一帯に大きな地すべりがあったそう。その折り、一体の地蔵が土の中にうまってしまったんやと。

ところがある時、若松蓮華寺の住職の夢枕に地蔵さんが現われ、「わしは長い間、土の中にうずまり苦しくかなわん、掘り出してくれ。」といわれたんやと。そこで床下を掘り返してみたら、一体の地蔵さんが出てきたので、さっそく寺の中におまつりして大切におがんでおつたんやと。

それがその後しばらくして住職の夢の中に又、地蔵さんが現われ、「地蔵というもんな、道の端に立っていて、そこを通る人が災難に合わんように、仏の道を踏みはずさんように、守るのが役目じゃ、どうかわしを外にだしてくれ。」といわれたんやと。

それでお寺の前の、皆の通る道に安置したのが今、蓮華寺の前の地蔵さんだそうです。その上、地蔵さんの功德を、一人でも多くの人々に与えられたらよいのでは、との住職のお考えから、分身をつくり、上若松町と角間町、陽風園とにそれぞれ安置し、日々、通りすぎる多くの人達を優しく見守っているそうです。

現在、もりの里2丁目に移築されています。



資料*わがふるさと今・むかし
-田上校下の歴史-

ストップ特殊詐欺!!

金融商品詐欺

架空、または価値の乏しい未公開株や高価な物品について嘘の情報を提供し、購入すれば儲かると信じさせて、その購入代金として金銭等をだまし取る(脅し取る)手口です。

相手がコレを言ったら詐欺

A社の株は将来必ず価値が上がり儲かります。案内が届いた人だけ(あなただけ)が購入できます。

「あなただけ」「必ず儲かる」といったうまい話はない。

これで、だまされない!

- 聞き覚えのない会社からの未公開株や社債などの投資話は「詐欺」を疑う。
- 投資等は正規の証券会社や金融機関で取引をしましょう。

今年1月の能登半島地震、9月の奥能登豪雨からの早期復旧・復興を祈っています。当法人は今年度18年目を迎えました。地域の皆様、会員の皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます。今年度も、緑と花のある住みよいまちづくりの進進に努めています。(編集後記)